

【学生のみなさんへ】民青同盟を一緒にやってみませんか。2023年秋冬加盟呼びかけ文

<1>私たち日本民主青年同盟（民青同盟・民青）は、学園・地域・職場など草の根で活動している青年学生団体です。1923年創立（今年で100周年！）、15歳から30歳まで、全国約1万人のメンバーがいます。相談相手は、統一協会と自民党の癒着を長年にわたって追及し続けてきた日本共産党（1922年創立、国会議員21人、地方議員約2400人、党員約26万人、後援会員・サポーター約330万人）です。

<2>いま、日本も世界も激動のときを迎えています。平和的秩序の構築、格差と貧困、気候危機、ジェンダー問題など、あらゆる分野で歴史の本流と逆流がぶつかり合い、大きな音を立てています。日本でも、1955年以来継続・深化してきた「大企業優遇」「アメリカいいなり」を特質とする自民党政治が行き詰まり、暮らし・働き方、教育、外交など、あらゆる分野で歪みが生じています。この時代にどう学び、どう生きるか。一人ひとりが鋭く問われているのではないのでしょうか。

<3>こういった時代の中で、全国各地草の根で行動してきたのが民青です。47都道府県でのべ13万人以上が利用した食料支援活動、生活労働相談ボランティアやネットカフェ利用者調査、集めた実態を大学や政治・行政に届ける要請行動、小中高生対象の無料塾、原水爆禁止世界大会への参加、選挙前政策学習や政党との懇談。要請行動では、ネットカフェ利用者向けに宿泊施設を用意させたり、複数自治体で食料支援や学生支援の予算をつけさせたりすることができました。各地でロシアのウクライナ侵略反対のスタンディングなどをするとともに、現政権による大軍拡と改憲に反対し、青年・青年団体と共同で全国各地に300以上の「若者憲法集会実行委員会」を結成。6月11日に東京・銀座で1500人規模のデモを開催するなど声をあげてきました。私たち一人ひとりの力は小さくとも、力を合わせれば社会や政治を変え、歴史を前に進めることができます。民青で得る経験や感覚は、専門学問を深め生かしていくうえでも大きな力になるはず。あなたも一緒に学び行動し、民主主義の担い手として成長してみませんか。

<4>民青同盟が情勢を踏まえて適切な活動ができるのは、事実に基づく科学的なものの見方を学習しているからです。マルクスらの創始した「科学的社会主義」を学べば、現代社会のあらゆる出来事の根本にある資本主義経済の仕組みがわかり、資本主義経済の枠内でどこまでできるのかが見えてきます。科学的社会主義の理論を日本社会に適用した「日本共産党綱領」を学べば、「大企業優遇」「アメリカいいなり」を特質とする自民党政治の仕組みと、それをどう変えていけばいいのかが見えてきます。民青は、体系的かつ歴史的蓄積のある理論を学んでいるからこそ、どのような局面でも社会が変わる展望を見出し、前向きに活動していけるのです。

また、科学的社会主義は、ドイツの古典哲学、イギリスの古典派経済学、フランスの空想的社会主義などを源流とする総合的な理論体系なので、経済学はもちろん、哲学、文学、法学、教育学、社会学、物理学、生物学などあらゆる専門学問を深める上でも役に立ちます。社会や各学問を連関の中でとらえることで、あなたの大学での学びはよりいっそう豊かで面白いものになるはず。科学的社会主義の最新の入門書である『科学的社会主義Q&A』を発行しているのも私たち民青同盟です。気軽に真剣に、学びの一步を一緒に踏み出してみませんか。

<5>いま、一見、展望の見えづらい社会かもしれません。しかし、私たちは、「大企業優遇」「アメリカいいなり」という自民党政治から抜け出すことで、日本という国がこの激動期を乗り越えて、もっといい国になるという確信をもっています。トリクルダウンではなくボトムアップの経済政策、対米従属ではなく日本の強みを生かした平和外交など、日本にはまだまだ大きな可能性があります。

自民党に投票しているのは有権者のうち18.9%（2021年衆院選比例票）に過ぎません。実際に、2015年以降の3回の参院選と2回の衆院選では、市民と野党の共闘が成功した多くの選挙区において、共闘候補が自民党候補相手に勝利を収めました。市民と野党の共闘を根本から後押しするのは、世論と運動です。それを強く大きくしていくことが、「大企業優遇」「アメリカいいなり」から抜け出していくための重要なカギとなっています。

民青で学ぶ政治や社会の捉え方は、あなたの大学での学びや進路選択にも積極的な意味を持つはず。あなたも、政治が変わるリアルな展望を掴み、明るく政治や社会と向き合いながら、かけがえのない学生時代を前向きに過ごしてみませんか。

<6>民青同盟の活動の基本は週一回の班会です。空きコマや5限後などの班会でプランをつくって実行していきます。関心から出発した学習、なべ会などの交流会、食料支援活動のほか、カリキュラム相談、テスト前勉強会、アルバイトの相談など、大学生活を支える取り組みもしています。

同盟費はひと月550円（減免制度あり）、新聞も発行しています。他のサークル・団体との掛け持ちも応援します。多くのOB・OGが、民青で学び、交流し、行動し、それを通じて成長し、民間企業、公務員、弁護士、研究者、医療従事者、国会議員・地方議員など、様々な分野で活躍しています。このような時代に、どう学び、どう生きるか、同世代と率直に話し合えるのが民青同盟です。難しそうに見えるかもしれませんが、知識ゼロからでも学び始められるのが自慢です。激動の時代を生きるあなたへ、民青同盟への加盟を心から呼びかけます。